

中央大学学員会 第29号 49年白門会会報

発行日 平成26年12月13日(年2回発行)
発行人 山崎 厚太
発行所 中央大学学員会49年白門会
印刷所 (有)東光美術印刷

東京都千代田区神田駿河台3-11-5 中央大学駿河台記念館学員会事務局

49年白門会のホームページ → <http://www.gakuinkai.com/hakumon49/>

49会のホームページから「会員の部屋」に入る際のユーザー名は49nen、パスワードはhakumonです。

49年白門会のメールアドレス → hakumon49@gakuinkai.com

会員の皆様の登録・変更をお願いします。PC、携帯でも可能です。

CONTENTS

- 1ページ ★卒業40周年を思い、49年白門会設立15周年に向けて 山崎厚太
- 2ページ ★2014年総会議案報告
- 3ページ ★2014年総会・懇親会レポート
- 4ページ ★会員からのエッセー「卒業40年間で忘れられないあの事」
★事業部掲示板
- 6ページ ★友へのメッセージ 堀内純一 ★楽苦我喜 杉本和久
- 7ページ ★ちょっと役立つアラカン写真講座 高橋和幸
★ビアパーティ報告 後藤徳爾
- 8ページ ★49年白門ゴルフ会報告 ★ホームカミングデー報告 ★編集後記

49年白門会

(題字・葛西聖司)



40年間の振り返ると長いようであつた瞬間の一瞬としか思えませんが、卒業直後から振り返ってみると、20代の自分は猪突猛進というか、よくまあ恥ずかしもななくこんなことができたかという仕事ぶりでした。30代になり役が付くと少しは考えがまともになりますが、また家族よりは、仕事の時間がかかるか多くがむしゃらさがありました。このころまでは、寝る時間とか土日祝日という概念は全くありませんでした。30代、40代というのは、子供が歩き出して幼稚園、小学校と一番楽しかった時代だったと思います。40代はかなりのまっとうな時代でした。今から思えば、それまでと違ってやりたい放題をやるといふより周りに知らず知らず相手を相手を遣っていたような気がします。50代は体の無理が急に利かなくなってきました。酒もほどほどにと、

30代の時は毎日のように酒を飲み、飲んだら2次会、3次会、あるいはそのまま泊まって翌日会社へというような生活に何の疑問もなかったことは全く違った生活になりました。ところで、60代になって、自分の20代、30代の時と同じような問題にぶつかったとき同じように挑戦できるだろうか、あるいは恥も外聞もなく突進できるだろうか、要は20代、30代、40代、50代の自分と競争して勝てるだろうかと考えたとき、一瞬とまどってしまいました。

今年10月の新聞記事で、聖路加国際病院名誉院長内科医日野原重明さんが、103歳になり今も元気に活躍しているという記事を読みました。私は平成3〜4年頃仕事の取引先の責任者としてお会いしたことがあるのですが、その当時から講演会等で日本中を駆け回っており、彼の職場の周りの人たちの元気に感じできなかった追いつけ無けという感じでした。私より40年長ですから、彼が私が大学を卒業した時、今の私の年だったということになります。初めてお会いしてからずっと気にかけていました。新聞記事を読み改めてこれは負けられぬと思いを新たにしました。いつもエネルギッシュです。要は目標を持ち絶えず頭を使い多くの人と交流しているということが、いつも変わらぬ行動できる「力」となっているのではないのでしょうか。我々60代は仕事をリタイアした人、そろそろリタイアを考えている人が多いと思いますが、40年長の日野原さんが「カクシャク」として活動しているのを見るにつけ、我々はこれから40年先を想像して行動する必要があるのでないかと思いました。60代はがむしゃらさや恥や外聞も無いということはありませんが、知識や経験は十分あります。後は心の持ちようだと思います。私は常日頃人間の生物年齢は1〜23歳だと皆さんにお話していますが、日野原さんは正にその手本のような方だと思えます。卒業40周年を迎え、改めて私はこの人のように有りたいと思いました。「49年白門会」も2015年には創立15周年となります。大学4年間はお互い全く知らなかった人達が15年の間行動を共にするようになったりしました。このような長い付き合いはかけがえのないものです。一生のものとして皆さんとともに育んでいくことはありませんか。

卒業40周年を思い、 49年白門会設立15周年に向けて

49年白門会会長 山崎 厚太

【49年白門会2014年総会】

2014年7月12日(土)に2014年の総会が御茶ノ水の「お茶の水ホテルジュラク」で開かれました。今年は中大を卒業して40周年の記念総会になりました。

第1号議案

2013年度事業報告

1. 各行事
 - (1) 2013年5月25日(土) 亀戸天神社散策と懇親会 場所：亀戸天神社(出席者15名)
 - (2) 2013年7月6日(土) 総会と懇親会 場所：中央大学駿河台記念館1階フリオール(出席者26名)
 - (3) 2013年8月10日(土) ビアパーティ 場所：キリン横浜ビアビレッジ(出席者15名)
 - (4) 2013年11月23日(土) NHK見学と懇親会 場所：NHKスタジオパーク(出席者16名)
 - (5) 2014年1月25日(土) 新年会 場所：お茶の水ホテルジュラク(出席者43名)
 - (6) 2014年3月8日(土) 新宿御苑で寒梅を観る会と懇親会 場所：新宿御苑(出席者19名)
2. 中央大学49年白門会会報の発行
 - ・第26号：2013年6月8日(土)
 - ・第27号：2013年12月14日(土)
3. 中央大学49年白門会役員会活動
 - ・第78回：2013年4月27日(土)
 - ・第79回：2013年6月8日(土)
 - ・第80回：2013年7月6日(土)
 - ・第81回：2013年9月14日(土)
 - ・第82回：2013年12月14日(土)
 - ・第83回：2014年2月8日(土)
4. 会員数
 - ・会員総数(263名)
 - ・2013年度新入会員数(9名)

第2号議案 2013年度収支決算報告について(2013年4月1日～2014年3月31日)

〈収入の部〉 (単位：円)			〈支出の部〉 (単位：円)		
費目	決算額	概要	費目	決算額	概要
会費収入	354,000	新規9名、通常92名、重複7名 合計108名から入金	通信費	75,725	ヤマト運輸 56,980円、後納手数料、資料送付代他
懇親会収入	420,000	総会27名×6,000円=162,000円 新年会43名×6,000円=258,000円	事業費	158,550	会報印刷 158,550円
雑収入	53,364	学生会活動補助費 50,000円 預金利息 163円 二次会余剰金他 3,201円	懇親会費	450,600	総会パーティー費 169,100円、新年会費 281,500円
収入計	827,364		事務費	13,125	封筒制作代
			交際費	40,000	他支部祝賀金 10,000円、学生会賀詞広告 30,000円
			雑費	81,967	振込手数料、送料他
			支出計	819,967	
			収支差額	△7,397	
			前年度繰越金	873,320	
			次年度繰越金	880,717	

第4号議案

2014年度予算案 (2014年4月1日～2015年3月31日)

〈収入の部〉 (単位：円)	
費目	予算額
会費収入	320,000
懇親会収入	600,000
雑収入	50,000
収入の部合計	970,000

〈支出の部〉	
費目	予算額
通信費	100,000
事業費	200,000
懇親会費	560,000
事務費	20,000
交際接待費	60,000
雑費	120,000
支出計	1,060,000
収支差額	▲90,000
前年度繰越金	880,717
次年度繰越金	790,717

- (1) 「40周年記念総会」
(お茶の水ホテルジュラク)
2014年7月12日(土)
- (2) 「ビアパーティ」
(アサヒビールタワー)
2014年8月9日(土)
- (3) 「ホームカミングデー」
2014年10月26日(日)
- (4) 「葛西臨海水族園」
2014年11月22日(土)
- (5) 「新年会」

第3号議案

2014年度事業計画案

1. 「中央大学49年白門会 事業基本計画」
卒業40周年を記念し、更に同期相互の親睦・交流を推進するとともに、会の組織強化を図り、会創立20周年(2020年)に向け新規会員の増強活動を行う。

- (1) 40周年記念事業の推進
- (2) 懇親会・親睦会の開催と同好会活動の推進
- (3) 会報発行と記念誌の発行準備
- (4) 会創立20周年(2020年)に向けた新規会員の増強

2・2014年度事業計画(案)

幹事長		副幹事長		会長		副会長	
(広報部長)	大竹力三(法) 再任	(広報部長)	原 伸正(経) 再任	山崎厚太(経) 再任	葛西聖司(法) 再任	山崎司平(法) 再任	宮川 保(経) 再任
(会計部長)	千葉幸嗣(商) 再任	(会計部長)	小澤秀敏(経) 再任	中島章夫(経) 再任	藤本真也(法) 新任	高橋和幸(法) 再任	石川晶雄(経) 再任
(事業部長)	梅田真人(経) 再任	(事業部長)	柴田 明(理) 再任	益田耕二(法) 新任	渡邊秀和(文) 再任	大谷洋一(法) 再任	安藤正幸(経) 再任
	安藤正幸(経) 再任		大谷洋一(法) 再任		安藤正幸(経) 再任		益田耕二(法) 新任

第5号議案

2014年度役員改選案

- (6) 「貨幣博物館見学」日本橋の会長
2015年1月31日(土)
- 2015年3月14日(土)

中央大学を卒業して40年！ それぞれの40年間に！！

大学を卒業して40年。リタイアされたり、まだまだ現役の会員が、懐かしい御茶ノ水駅近くのホテルに集合。その数50名以上。懇親会には卒業40周年を記念しての企画や他支部からの祝辞など盛りだくさん。来年の設立15周年に向けて大きく前進した！！

初参加者が7名 54名で総会は盛況

7月では最強クラスと言われた台風8号が前日関東地方を通過し、猛暑日予報が出た7月12日(土)に「お茶の水ホテルジュラク」で49年白門会の総会・懇親会が開かれました。まだ梅雨の真っ最中でしたが、夏空が広がった11時半過ぎには、受付を待つ会員が集まってきました。今年中央大学を卒業して40年。年代的にも退職された方も出てきて参加人数も54名と、設立総会や10周年総会に並ぶ盛況となりました。



定刻の12時に総会が開始され、議長に石川晶雄さん(経済)を選出し議事案に沿って審議されていきました。第1号議案の「2013年度事業報告」と第3号議案の「2014年度事業計画案」を事業部長の千葉幸嗣さん(商)、第2号議案の「2013年度収支決算報告」と第4号議案の「2014年度予算案」を会計部長の原伸正さん(経済)が説明され会員の拍手で承認されました。第5号議案の「2014年度役員改選案」について、選挙管理委員長の宮川保さん(経済)から立候補の届はなかったことが報告され、18名の役員候補者は全員の拍手で承認されました。

予定の12時半に総会も終わり、引き続き隣の「孔雀の間」に移って懇親会が開かれました。会場の正面には「中央大学49年白門会 卒業40周年記念総会・懇親会」という横断幕が貼られ、その下に49会の支部旗が飾られていました。今回は卒業40周年記念ということで47年、48年の支部長を来賓としてお招きしました。人間の生物年齢を1.53歳と考えている山崎厚太会長(経済)は、「まだ半分です。20年後も元気な姿で会いましょう」と挨拶。来賓の47白門会支部長の元木徹さんと白門48会

支部長の山口隆司さんからはお祝いの言葉とともに、来年は設立15周年であり、また20周年を目指してお互いを盛り上げていきましょう、とエールを戴きました。

副会長の宮川保さん(経済)の乾杯の発声で一気に会場は盛り上がり上がっていきました。15分過ぎに広報部の柴田明さん(理工)制作の49年白門会設立14年間の歩みの映像と、高橋和幸さん(法)制作の卒業してからの40年間の社会の出来事をもとめた映像が約20分間スクリーンに映し出されました。駿河台校舎や長嶋茂雄引退等懐かしい映像が流れました。BGMとして会場には40年間のヒット曲の20曲が流されました。40年間の出来事をコンパクトにまとめた20ページの小冊子も総会時に配布されました。岡山、岩手、愛知、新潟県からの参加者もいらっしやいました。初めての参加者も7名、会員の方の呼び掛けに応えていただいた人達です。一人の会員が一人に声をかけて集まれば49会も一気に大きな集まりになります。リタイアする年代になってきました。是非楽しいサロンのような会にしたいと思います。



今年も恒例の じゃんけん大会

した。リタイア後の話から趣味の話親の介護、持病の話までいろいろ出てきました。料理の質も量も申し分なく、お酒も十分でした。

宴もたけなわの頃、恒例(?)のじゃんけん大会が開かれました。今回は中大グズのクッキー、羊羹、饅頭等とともに、宮崎の黒木兼一郎さん(商)から地元の焼酎、富山県氷見市の浜手基親さん(文)からは畑で採れたジャガイモ、葛西聖司さん(法)からは自著の単行本等が提供され、宮川副会長とのじゃんけんでは勝った約30名の方にプレゼントされました。宴の最後は中大節に合わせての会場練り歩き。今年の新年会から行われるようになったもので、「落研」出身者の根本慎一さん(文)と石川



晶雄さん(経済)のリードにより全員が会場を練り歩くという感動的なシーンが演じられました。校歌と応援歌もお二人のリードで盛大に盛り上がり、最後の締めは山崎司平副会長(法)による万歳三唱で背筋をピンと伸ばしました。

3時にはお開き。これから40年ぶりのクラス会を開くというグループや、久しぶりに会った人たちが数人での会合、御茶ノ水駅前の居酒屋で開かれる2次会へと、それぞれの思いでホテル前で解散となりました。

会員からのエッセー

「卒業40年間で忘れられないあの事」を語る

卒業後の40年間で、人生の転機となった事や忘れられない事の、一つや二つは有るものです。そんな出来事を会員の皆様から募集いたしました。これからの人生また新しい忘れられない出来事が生まれてくるかもしれません。

アフリカでのODA調査

甲田 隆夫（経） 埼玉県 埼玉県 川越市

40年間を振り返って見た。卒業後東京産業㈱に入社し本店と各支店で海外とは無縁の生活だったが、最後に本店へ部長として戻ってみると、海外取引の多い課も含む部署。一時のカルチャーショックにも慣れてきたころ、あるコンサルから依頼があったのがボツワナ共和国でのODAの案件調査。英語が得意な部員は、日々の仕事で忙しく、人員が割けないので断ろうとしたら、専務より部長がやれば良いとのこと。応募、とんとん拍子に採択され、英語が話せない自分がボツワナ調査に行く事になった。調査は2週間の出張を2回で実施。

1 回目の出張時のこと。成田から香港、ヨハネスブルクを経由し、首都ハボローネに到着、約24時間の長旅。この出張はビジネスクラスなので快適なはずだったが、よくある海外旅行でのトラブルが3件。親切な人には気をつける。ヨハネスブルクで乗換時空港職員とみられる人に、

混雑を避け優先ゲートを案内され通過後、法外なチップを要求され大声を出して難を逃れる。ハボローネで全員の荷物が届かない。調査終了後の帰り便、前日シートを確認したにも関わらず当日シートなし（ボツワナ政府要人に与られたらしい）。キャセイ航空から南アフリカ航空便に変更。6時間遅れで帰着。キャセイ航空より約3万円のランド（南アフリカ紙幣）の提供有。意義申立をしない書類にサインさせられる。

2 回目調査は12月上旬。何事もなく無事終了。せっかくアフリカへ行ったのに仕事の為、アフリカの自然、野生動物を満喫出来なかったことが心残り。

厄払いと死期

秦 英信（商） 千葉県 千葉県 四街道市

「ゴン」大きな音とともに後ろから衝撃が走りました。場所は千葉県船橋市浜町。ららぽーとの近くのIKEAで大きなカーペットを買い、助手席と後部座席に積み込み自宅のある千葉方面に向かう渋滞の中でした。すぐ後ろの20歳位の若者4人が

乗る軽自動車に「何やってんの！と問いつけたら、「ウシロ、ウシロ」と彼らは口々に叫んで何やら狼狽な味。その後ろに行ってみると、やはり20代半ばの夫婦と赤ちゃんの家族。どうやら脇見して渋滞中にもかかわらず発進。ゴンゴンと玉突き状態になったようです。場所が実家の近くで子供の頃から知った土地柄、早速警察と消防に急報し関係者の名前、免許証を控え、暑い日だったので赤ちゃんの心配をしながら対応しました。2008年7月13日（日）15:58の事でした。サイドブレーキを引いていたので家内も私も無傷で済みました。

実はその4日前の水曜日9日に月例の営業会議の後、部長会麻雀で萬子（マンズ）一三三四五六七八九九九で聴牌（テンパイ）。ラスト2順目で一萬をツモ。？。？。タテチンツモ。と言っていたら、「それは九連宝燈（チュウレンポウトウ）だよ」と仲間が叫び、「今日はこれでオシマイ」。あがると死ぬと言われる麻雀の役（ヤクマン）の事でした。更にその2年前の7月15日、営業部のゴルフコンペ5組20名、場所は本千葉カントリークラブ東コース7番147ヤード、7番ユーティリティでエース達成。初めてゴルフ保険を使い、パーティに記念品で厄払い。今はそのショートホールも今春改造でミドルホールになり、話しても「ウソ！」。

次は宝くじで3億円を当てて、厄払いなんてしないで死んでやる。

徘徊

野田 光昭（理工） 埼玉県 埼玉県 所沢市

「乾杯、乾杯、度を越した昨夜の酒が汗と共に滴り落ちる。川沿いを四時間は歩いただろうか、辺りに人影はない。ここは北回帰線より南、日中に歩く物好きはいない。脇道に逸れ、暫く歩くと集落門に突当る。遠慮がちに踏み入ると、煉瓦積みのお家が立ち並ぶ。窓には鉄格子、入り口には裏福文字のタペストリー、麻雀牌を掻き回す音が響き渡る。広場の木陰ではトランプに興じる人もいれば、野外で調理する人もいる。のんびりと時が移ろう。

初日、成田空港で彼女が取り組んでいる「リデュース」「リユース」「リサイクル」の3Rに、さらに命を大切にする「リスベクト」を加えた意味の「もったいない」という日本語があると話したところ、彼女は自分の活動を一言で示す国際語を探していたといい、「MOTTAIINAI」キャンペーンとして世界に広げ始めた。それから2011年9月25日、

のか都はるみの曲が妙に懐かしい。足は自然と馴染みの日本食屋へ向かう。乾いた喉にビールが旨い。店員さん達との他愛ない会話が酒が進む。「毎日、乾杯」夏の日差しは、05年〜11年まで中国広東省佛山市赴任時、訳もなく歩いた日々をほろ苦く蘇らせる。

人生の奇跡 マータイさんとの出会い

真田 和義（法） 東京都 東京都 中野区

39年の毎日新聞記者生活で、思い出に残るのは、ノーベル平和賞を受賞したケニアの元環境副大臣でグリーンベルト運動の創始者、ワンガリ・マータイさんと歩んだ7年間だ。2004年10月、マータイさんがアフリカ女性として、また環境分野で初めてノーベル平和賞が決定した時、部下と彼女を日本に招こうと決意した。トヨタ自動車、JR東日本、イオン環境財団などの支援で翌05年2月、来日を実現した。

71歳で、がんで亡くなるまで、彼女は国連平和大使として被爆地・ヒロシマを訪れ、被爆者の話に泣き「MOTTAI! will improve the earth」(もったいなさは世界を良くする)とロンドンで、ニューヨークで、世界中で講演し続けた。日本を心底、愛し、「真田のいうことは99%聞けばいい、1%は私の自由」と気さくに、冗談も飛ばしていた。

遙かに遠いと思っていたアフリカの女性とこれほど素晴らしい出会いがあるとは！

私にとって人生の奇跡だ。

60歳からの起業

斉藤 栄一(文) 東京都豊島区

私は卒業後家業のふとん製造業に携わって来ました。中国は30年前から羽毛ふとんの原料調達で行き、駐在経験こそ有りませんが中国の変化を見て来ました。

初めて行った中国上海は、人と自転車が溢れてそれ以外は何もない場所でした。「無錫旅情」という歌をご存知なら、そのバックに流れる映像の世界です。高層ビルが立ち並びラッシュアワーの今の上海とは雲泥の差です！

「面白いな！日本の戦後のドサクサとそっくりだ！」「商売チャンスがある！」

その時一緒に行かれた方が言われた言葉が耳にびり付き、それから

30年！60歳で回って来た縁で、中国人パートナーと、中国に「MADE IN JAPAN」を売る仕事を起ちました。

「中国のこと好きですか？」私「嫌いです！」相手「えー嫌いなのに中国の仕事を始めたのですか？」先日初めて会った人との会話です。

私は中華人民共和国と言う国は好きでは有りません。でも一生懸命生活や仕事をしている人々に愛着を感じています。今毎月1週間程度中国に居ます。常駐では有りませんが、日本を外から見る事で日本の良さや歴史を再確認しました。

60歳からの起業は山あり谷ありですが、お陰様で中国人パートナーが信頼できる相手なので、これから頑張るって仕事に取組んで行きます！



高層ビルが立ち並ぶ上海の浦東(プードン)地区

ドイツ滞在30年

渡辺 博史(理工) フランコfurt

人生を変えた出来事と言えば、私の場合、1981年2月18日にドイツに到着した事です。それからずっとドイツで暮らしている訳ですから、私の人生を変えた一大出来事だったのです。

2年間と言う事で赴任したのが、30年を超えてしまいました。人生の半分以上、それも大人になっての、大部分を過ごしている訳です。2年で帰っていたら、全く違う人生だった筈です？ 又はずっと日本にいたら、どんな人生だったのだろうか？

日本のニュースは、出来るだけ得るようにして来ました。当初はニュースと言えは、日本の新聞しかありませんでした。会社の中で回し読みをしていましたので、数日遅れのニュースです。新聞は隅から隅まで読みました。

今は、TV乃至はインターネットです。日本のニュースは、同時に見る事が出来ます。でも、どうしても得られないのが、日常生活の中での、日本での雰囲気です。皆が普通に毎日している話題とか、仕事帰りに一杯飲みながらの話。そういう意味では、浦島太郎かな？

30年居ても、現地の人には外国人日本では、何かが抜けている日本人で、100%の日本人としては、見られません。中途半端なのかな？

カッコ良く言えばグローバル人地球人と慰めています。

「痔」と我慢の1週間

大竹 力三(法) 埼玉県鶴ヶ島市

「大竹さん、痔どうだよ」尻の穴から引き抜いた指サックの血を見て医者が言った。実はこの医者さん、当時コミック雑誌の編集者だった時に担当していた医療漫画の原作者で、現役の消化器外科医の権威。時々トイレットペーパーに血が付いてくるので少し気になっていたのに、打合せの時に「痔みたいなんですよ」等と話したら、2、3日中に診察という事になった。担当作家に尻の穴まで見られちゃ何も言えなくなってしまう、なんて思いながらの診察。

「20分位のオペだよ。夏休みだし入院したら？」という事で雑誌の校了明けに入院することになった。大学卒業以来40年間で唯一の入院・手術を1996年8月に体験した。

翌日の午前中に手術だという入院した夜に「大竹さん、手術すると2週間飲めなくなるから、今夜良い店があるから行きましょ」と先生からのお誘い。「明日手術ですよ」「大丈夫だよ」という事で、そんなものかと思いつつ約束の時間に着替えてきていたら、看護士さんが飛んできて「どこに行くんですか！」「先生から飲みにくいって誘われたんで」「そんなことされたら私、当直の先

生に怒られます」と泣いて止められた。「正直に言うんだったら」と先生も来て結局飲みには行かなかった。

翌日腰椎麻酔をされてうつ伏せになつての手術。ぐいぐいとかなり乱暴に尻の中を引く張られるような感じがして15分ほどで終了。「いぼ痔もあったから取っといたよ」ときりげなく先生に言われた。

1週間の入院は何もしない夏休み、という感じだったが、6人部屋だったのでよく眠れず、夜はじっと我慢した思い出が残っている。

実はこの医者と組んでいた漫画家と、連載を担当した漫画家もこの先生から痔の手術を受けている。これがほんとの「ケツ・縁関係」。聞けば2人ともおしりは快適だろうだ。

事業部揭示板

新年会

今回も御茶ノ水駅近くの「お茶の水ホテルジュラク」で行います。美味しい料理とお酒で楽しいひと時をお過ごしください。

日時 平成27年1月31日(土)

12時~14時30分

場所 「お茶の水ホテルジュラク」

孔雀の間

東京都千代田区神田淡路町2-19

TEL 03-3256-1722

会費 8千円

※3月の貨幣博物館見学は改修中に
つき場所を変更します。

友への メッセージ

音楽を通じた出会いと大切な絆

堀内 純一(法) 東京都 小平市

去る10月25日に大手町日経ホールにて行われた、私が現在所属する「化学オーケストラ」演奏会に「49年白門会」から杉本和久さんと夫妻、千葉幸嗣さんはじめ数名の方々が聴きに来てくれました。知り合いのかたに聴いていただけるとは、演奏者にとって励みにもなり、嬉しいものです。ありがとございました。

音楽との出会いは、始めはピアノでしたが、小学6年の時、左手親指に大げがをしたことがきっかけで中学2年で習うことを断念しました。その後も音楽を続けたいという気持ちがあったので、高校1年から吹奏楽部に入りトロンボーンを始めました。また、時を同じくしてチェロも始める機会を得ました。当時、ポロディン弦楽四重奏団の演奏会を聴きに行き、「人間の声域に近い」チェロの音色に魅力を感じていたところ、高校の音楽の先生からプロのチェリストを紹介され、レッスンを受けることができました。さらに、朝日ジュニアオーケという子供のオーケストラに入団し、また初心者状態でしたが、合奏の楽しさを覚えたのもこの頃でした。



撮影・千葉幸嗣

話を戻して、私のオーケストラ遍歴を辿ってみると、朝日ジュニアオーケで始まり、都民響、東京パロックアンサンブル等、札幌勤務時代に入団した「札幌市民オーケストラ」を含め30団体に及びます。これらのオーケストラ活動を通じて得られた

中4年の時に、東京文化会館(上野)が当時マネジメントしていた「都民交響楽団(都民響)」というアマチュア・オーケストラのオーディションを受けて入団しました。この都民響には、通算で10年在籍(途中、転勤等で一時退団し、オーディションを受け直して3回入団)しましたが、ここでの出会いがあり、現在の家庭(家族・妻、娘二人)が存在します。私も家内もアマチュアのチェロ弾きですが、娘達はともに音大を卒業してプロの道に進みました。長女はピアノ・デュオの世界で、次女はソロのオーケストラ(東京都交響楽団)のチェリストとして、それぞれ家庭を築きながら演奏活動を続けております。

様々な人との出会いは私にとって大切なものになりました。音楽には国境も言葉も関係なく、「演奏する」とを通じてお互いの意思を伝達・結びつける不思議な力があります。この6月で40年勤めた食品会社を退職しました。忙しくて音楽から離れた時期もありましたが、楽器(チェロ)を続けていてよかったと思っております。音楽を通じて、札幌時代の友人とは、家族ぐるみでもう30年以上のお付き合いが続いております。以上、音楽活動を通じて話ばかりで真面目に仕事をしていなかったのではと思われる方もおられるといけませんので、在職中の話を少しさせて頂きます。40年間のうち、その半分は法務部門と知的財産部門での職務に携わり、国内外の出張も多く、それ以外は、営業・企画、国内外事業管理、中国ビジネス、そして最後は、グループ会社の常勤監査役を6年間大過なく務め、ほっとしているところでした。

振り返れば、このサラリーマン生活の中でも、音楽を通じて多々の方々とこの繋がりを絶やすことなく続けて来られたことは、貴重な財産と思っております。これからは、今まで以上に人との出会いと絆を大切にしていきたいと思う今日この頃です。

楽 苦 我 喜

杉本和久(法)
東京都 練馬区

私の音楽鑑賞断

公務員をリタイアし、初めて49白門会(7月の総会)に参加しました。これから多くの同期の方々と、親交を深めさせていただきたいと思っております、よろしくお願ひします。

さて、私はこれまで多くの趣味を楽しんできました。広く浅くですが、音楽・絵画鑑賞、写真、オーディオ、アマチュア無線等です。その中から今回、私の音楽鑑賞歴についてお話ししたいと思います。若い頃鑑賞したジャンルは、J・POP(当時は流行歌・ニューミュージック)、イージーリスニングを主に、たまにクラシック。よく聴いたレコードは岩崎宏美、五輪真弓等で、クラシックはイ・ムジチ合奏団の「四季」でした。

私の音楽の趣向を一変させてくれたのは、職場の同僚U君。彼はクラシックのアマチュア合唱団員で、オペラの合唱に出ると聞き、コンサートに出かけたのが今から10年前。それからオペラに嵌ってしまいました。それまでのオペラのイメージは、貴録のあるオバサン、オジサンが大声で延々と外国語の歌を歌い続ける数居の高い音楽で、興味ゼロでした。しかし何度か劇場に足を運ぶと、清らかな歌声と美しい演奏が、私を狂大で華麗なオペラの世界に誘ってくれました。今まで食わず嫌いだっただけを開眼させてくれたU君に感謝しています。

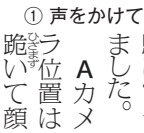
その後、ジャズにも挑戦。四谷の有名なジャズ喫茶で、ジャズ講座を受けましたが、チャーリー・パーカー、マイルス・デイヴィス等往年の名プレイヤーの良さは分らず、ギブアップ。なんとか馴染めたのはビル・エヴァンスだけでした。その喫茶店の紅茶がアールグレイで、以後アールグレイ党になった事がジャズ講座の成果でした。今度は、ジャンルを超えていますが、同期の葛西さんがレクチャーされている歌舞伎講座を受講し、日本の古典芸能にも挑戦して、さらに趣味の幅を広げようと思っております。

ちょっと役立つ
**アラカン
写真講座**



孫の運動会を撮る

まず①番の写真です。朝これから運動会が始まるよという写真です。期待に胸を膨らまして校門から駆けてきました。
A カメラのダイヤルはPまたはSにします。後ろはボケる方が子供が浮かび上が



① 声をかけて
ラ位置は
跪いて顔

今回は二回目の「孫を撮る」です。以前掲載してから2年が過ぎて、孫もすっかり大きくなって動き回るようになりました。そんなやんちゃな孫の表情を撮るヒントをお教えします。

カメラマン 高橋 和幸(法)

位置にあわせる。帽子の影にならないように顔に露出を合わせる。その時運動場は白く飛びますがかえって子供を引き立たせます。

B 「おはよう」などと声をかけて返事を求めると笑顔とか口の表情が良くなります。少し早めに予測してシャッターを切ります。この時カメラのISO感度を上げて早いシャッターで切れるようにします。カメラのダイヤルはPまたはSにします。後ろはボケる方が子供が浮かび上が



② 脇を締めて
撮る。こ
れがコツ
です。
③の写
真はその

るし、速い動きにも対応できます。
②は基本的に①と同じ撮り方ですが室内なので外より光が暗くなりま。一番多い失敗は画像のブレです。感動のあまり声を出して撮ったりますとカメラも動いてぶれるわけです。脇を締めてしっかりと固定して撮る。これがコツです。
③の写

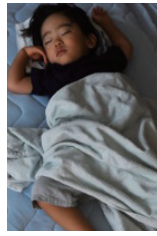


③ 家族は全員入れる



④ 後ろはぼかす

⑤最後は疲れて寝てしまった寝顔を撮っておくと、可愛さが倍加されます。とにかくこの時こんな可愛い一瞬は二度とやってきません。写真の使命は芸術写真を目指すのではなく、あくまでも記録性にあると思います。大人になったときに写真を見直して自分を見つめることが出来ます。また親戚が集まったときなどかつての写真から話が広がります。ハッピー家族を作るのは写真からです。おしいちゃん、おばあちゃん頑張ります。



⑤ 可愛さ倍増

アサヒビールタワーで乾杯!

2014年
8月9日(土) 後藤徳彌(経)

今年も恒例のビアパーティが開催されました。ビール会社系のお店で



の開催は、過去にエビス、サントリー、キリンで今年はアサヒです。昨年のキリンは大変暑い日に、野外でビールとバーベキューでしたが、今年は一転曇り模様のなか、浅草駅近くの東京スカイツリーが近くに見える大変見晴らしがよいビルの22階の個室で、ビールと大皿パーティ料理が中心です。参加者は18名で、初参加は杉本さん紹介の堀内純一さん(法・法)と堀籠さん紹介の伊藤公雄さん(経・産経)です。
山崎会長のご挨拶の後お店指定のスパードライで乾杯し、次はスパードライプレミアム。この後は6

種類のビールを全て飲み干すと頑張る人、ビールはプリン体が多いからワインに変更した人、焼酎を飲む人等各テーブルで多めに盛り上がりました。
スタートしてから1時間半が過ぎ、お店の飲み放題コースの時間のラストオーダーの声とともに皆様少し多めにアルコールをオーダーし最後の追い込み。そして、楽しい宴はあっという間に終了しました。
通常ならば2次会へと声をかける人がいますが、今日は台風の關係で帰りの足が心配のためか、全員帰路につきました(多分!)。



日早かったらビアパーティは多分中止になったと思いき、ホットした今回の素晴らしい企画でした。

●49年白門会事務局
*住所変更、新規会員紹介の御連絡、会報への御意見などをお寄せください。
49年白門会会計監事 益田耕二
〒105-0013 東京都港区浜松町1-24-5 第3河原ビル3階
サザンフラックス労務室
Tel 03-5401-7545 Fax 03-5401-0898
※メールアドレスの登録・変更は
hakumon49@gakuinkai.com にご連絡ください。

第23回ホームカミングデー

2014年
10月26日(日)

昨年は台風で中止になった第23回のホームカミングデー、今年は秋空のもとで行われました。数日前からの寒気のせい、急速に色づき始めた紅葉の下に同期が三々五々集まりました。

役員が早朝から来て49年白門会の幟を立てて確保したテーブルには、持ち寄ったお酒やつまみがあふれるばかりに乘っていました。もうすぐ晩秋とは言え日回では暑かったのでビールが良く出ました。

開会1時間前の9時には、既に各支部の旗が会場のテーブルに林立し、全々場所がなくなっていました。多摩校舎は初めてだという会員から、遠くは宮崎県から焼酎を差し入れてくれた会員まで、開会の10時過ぎから終了の4時まで集まった会員は約20名以上。飛び入りで井さんのお兄さん(37年)と黒木さんの都内在住で中大商学部卒のお嬢さん。

話に盛り上がっていました。最後の締めは抽選会。商品券やバイクが賞品として出ましたが、残念ながら49年白門会からは当選者なし。

4時過ぎに終了。新年会での再会を約し、モノレールで帰る人、紅葉の下、多摩動物公園駅まで歩く人等、中大の門を後にしました。(広報部)



第11回49年白門ゴルフ会

2014年
10月27日(月)

10月の最終週の月曜日、埼玉県の「飯能パークカントリークラブ」で第11回49年白門ゴルフ会が4組14名で行われました。

当日は快晴無風。暖かい陽射しがあり、途中から半袖に着替えてくる人もいたぐらいの暖かい一日でした。周りの山も紅葉が始まり正にゴルフ日和。前日のホームカミングデーで借りてきた49年白門会の幟と一緒に集合写真をパチリ。

9時48分、インからスタート。前半は、各ホールで待たされることになりましたが、各組とも和気あいあいとプレーを楽しんでいました。コースの途中でスカイツリーが見えるところがあるのですが、あいにく今日は霞んで見えませんでした。

後半は少し曇ってきましたが、風もなく半袖で十分な暖かさでした。平日の午後、穏やかな空の下でボールを打つことに無心になれる自分が

いる事に驚きがありました。優勝はダントツの77というスコアの小澤龍次さん。これまでの会でのベスグロは黒木兼一郎さんの79だったのですが更新されました。「一緒に回ったメンバーに恵まれました」と優勝の弁。ブローメーカーはこれまたこの会のワーストスコアに迫る130近くを叩いたOさん。なにはともあれ青空のもと楽しく過ごせたことが一番です。

前日の多摩校舎でのホームカミングデーへの参加を兼ねてこのゴルフ会に参加された黒木さんから、地元宮崎の焼酎が参加者全員にプレゼントされました。毎回、宮崎県のお土産を持参してくれる「宮崎観光大使」にいつも感謝です。

外に出ると北風が吹いていました。数時間後に東京地方では昨年より15日も早い木枯らし一号が吹いたというニュースが流れました。(広報部)

編集 後記

ポイントは楽しく 続けられること

定年前後で私たちの生活は全く異なるのではないのでしょうか？ その為、定年後は長く続けられる趣味を見つけ、時間を如何に使っていくかが問題です。楽しく、マイペースで進められ、飽きずに継続出来るものを見つける事が重要ではないでしょうか？

私は昔から多趣味な方ですが、どれも定年後の有り余る時間を使う

程ではありません。しかし、今はある英語サークルに所属し、学生時代それ程好きではなかった英語にハマっています。英語では、Im into Learning English.と言っています。英語で話すテーマは政治、経済、科学等。それらの情報に関心を持ち、使われる英単語等を覚え、毎週何かしら喋る事を準備するのに追われています。また、新聞の翻訳にも月一回出席

し、自分の訳した英文の間違いをアメリカ人講師にチェックしてもらっています。授業中は全半英語でジョーク混じりのパワフル説明。しばしば理解不可だが一緒に笑ったり。終了後、飲み屋で異なる職業や年齢の人と話す(やはり日本語は楽)のも面白いので、定年後の楽しみと知識吸収を兼ねこれからも続けていきたいと考えています。(柴田 明)



次回は桜吹雪が舞う4月中旬を予定